

一次脳卒中センターコア施設 (PSC コア施設)

- 当院は、令和4年度に日本脳卒中学会より一次脳卒中センターコア施設の認定を受けました。
- 一次脳卒中センターコア施設は、脳卒中の専門治療、血栓溶解療法（t-PA治療）に加え、機械的血栓回収療法を常時行うことができる施設です。
- 脳卒中急性期の治療のみならず、慢性期の治療や介護について情報提供を行う〈脳卒中相談窓口〉を開設し、総合的な脳卒中医療を行います。

脳梗塞の治療について）

- 脳主幹動脈閉塞患者様の予後良好の割合（3か月後に自宅で生活可能な割合）は、

* 一般治療のみ	10%程度
* t-PA療法のみ	30～40%程度
* t-PA+血栓回収療法	30～70%程度

とt-PA療法、血栓回収療法を行うことにより脳梗塞患者様の予後を改善することができると報告されています。
- t-PA療法、機械的血栓回収療法ともに発症時間から早いほど予後が良いとされています。

機械的血栓回収療法について

- 脳梗塞の原因となっている血栓を除去することにより血流を再開させる治療法です。
- 発症早期に行うことが重要で、脳が広範囲に脳梗塞になってしまうと効果が得られません。
- 血管内治療（カテーテルを使用し、血管の中から治療します。）
- 専門性の高い治療法で、血管内治療専門医、血栓回収医が行います。
- 発症から再開通までが早いほど予後が良いとされています。血管内手術のみでなく、救急受入れから、検査、手術までのシステム作り、スタッフの育成が重要です。

